

Q3 水野さんは道路特定財源の問題では一般財源化を求める急先鋒でしたが、これも無駄遣い撲滅のためだったそうですね。

水野 これまでガソリン税などは道路にしか使えない税金だったので道路特定財源と呼ばれていました。

しかしこの特定財源こそ無駄遣いの温床だったのです。「必要があるから道路を作る」というのではなく「税金があるから使い切るまで道路を作る」という本末転倒のことが起きるからです。しかもこの道路特定財源は年間5兆円を

超える莫大な金額でした。

そこで私は道路だけを聖域にするのではなく、福祉でも教育でも環境でも必要な分野に自由に使える一般財源にすべきだと強く主張してきました。ようやく一般財源化することが決まりましたが、今後きちんと福祉などに予算が回っていくようにしっかりと監視していきます。

道路特定財源とは

ガソリン税は昭和24年に創設されたが、当初は用途は決まっていない税金（つまり一般財源）だった。昭和29年に当時若手議員だった田中角栄氏の議員立法により税金の全額を道路に充当する税金（つまり道路特定財源）となる。ガソリン税以外では軽油引取税、石油ガス税、自動車取得税なども道路特定財源だった。今年5月にこれらすべてを一般財源化することが閣議決定された。

諸外国の消費税率

	導入年	税率	軽減税率
日本	1989年	5%	なし
スウェーデン	1969年	25%	医薬品はゼロ税率、新聞・書籍は6%、食料品は12%
フランス	1968年	19.6%	新聞・医薬品は2.1%、食料品は5.5%
イギリス	1973年	17.5%	食料品・新聞・医薬品はゼロ税率、家庭用燃料は5%

Q4 将来的には消費税をどうすべきですか？

水野 先に述べた通り私は「無駄撲滅をせずに安易に増税に走るのは手順が違う」と思っていますが、未来永劫いまの税率のままで済むわけではありません。

諸外国を見ても日本よりかなり高い税率になっていますし。民主党のように「バラマキは行

なうが税は上げない」というのは不可能ですし無責任です。

ただ将来、消費税をアップするとすれば一律に上げるのではなく、生活必需品には軽減税率やゼロ税率を適用するなどきめ細かな対策が求められると思います。

お知らせ

●自民党機関紙『自由民主』購読ご希望の方はご連絡ください。自民党本部が発行している週刊の機関紙で毎号だいたい12面まであります。毎週火曜日発行。政治の現状、自民党の取組みなどの格好の情報源となっています。購読料は税・配送代込みで年額5千円です。

●自民党へ入党ご希望の方はご連絡下さい。党費は年額4千円です。入党すると党員証が発行され、自民党総裁選の時に一票を投じることができます。なお入党することと機関紙購読は別の手続きになっております。そのため入党したからといって『自由民主』が毎週送られてくるわけではなく、逆に『自由民主』を購読したからといって党員となるわけではありません。

●政治献金募集 政治活動を支えるための献金を募集しております。いただいた浄財はこの“水野けんいちレポート”の印刷・新聞折込費などに充当します。ご連絡いただければ幸いです。

■ご連絡先：自民党千葉県第九選挙区支部
TEL. 043-463-2400
FAX. 043-463-0475 まで



水野賢一 プロフィール

- 昭和41年7月21日生まれ
- 早稲田大学政治経済学部卒業
- 衆議院議員水野清秘書
- 平成11年 衆議院議員に初当選(現在4期目)
- 平成13年 自民党青年局長に就任
- 平成14年 外務大臣政務官に就任
- 平成16年 自民党環境部会長に就任
- 平成18年 法務副大臣に就任

水野賢一の政策について詳しくは「水野賢一ホームページ」
<http://www.mizunokenichi.com> にてご覧下さい